

佐多岬展望所

起伏のある遊歩道を 800m 歩くと、太平洋と東シナ海の雄大なパノラマ風景を見渡せる展望台にたどり着きます。晴れた日には別名「薩摩富士」とも呼ばれる標高 924m の火山、開聞岳に加え、硫黄島、竹島、種子島、屋久島も見られます。

御崎神社

展望台に続く遊歩道の途中に位置する御崎神社は、生い茂る亜熱帯の木々の間に佇んでいます。その正確な起源は謎に包まれています。神社は 708 年、佐多岬の険しい岩肌に佇む洞窟に建てられたといわれています。その特徴的な赤色や、所々に見られるハート型のような猪目のモチーフのおかげで、今は縁結びを求めてやってくる人の間で有名です。このモチーフは実は猪の目を象徴しており、日本では古代より魔除けのシンボルとされています。

灯台守広場

灯台そのものからは切り離された灯台守広場。英国人により設計され、大隅半島の佐多岬最南端に位置しています。当初の構造の一部しか今は残っていませんが、灯台守広場も灯台も、この地域にとって重要な歴史的・文化的価値を有しています。